平和

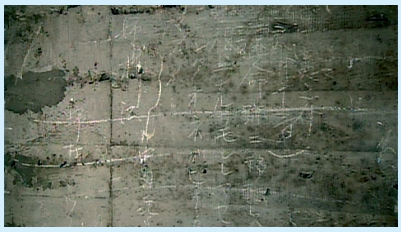
小学校高学年
中学校　高校
社会　地歴　総合

NHKスペシャル　49分

才願ヒ　才知ラセ下サイ ～ヒロシマ・あの日の伝言～

（2000年放送）

この番組の良さ



壁に残されたたくさんの伝言

原子爆弾の爆心地に近い広島市の袋町小学校（旧・袋町国民学校）は、原爆投下直後、臨時の救護所でした。

ここには、行方不明の家族を探す人々が訪れ、校舎の壁には家族の消息をたずねる伝言が書き残されていきました。

番組では、長い間眠っていた伝言がよみがえり解読されていく過程と、原爆投下直後の混乱と絶望の渦巻く状況や、被爆から55年後に届いた伝言と対面した家族の思いを知ることができます。

伝言や証言を中心とした番組構成

この番組は壁に残された伝言と、それに向き合う家族の証言を中心に展開されます。他の番組に見られるような原爆投下前後の戦局や、投下直後の悲惨な街の様子、被爆された方の映像はほとんど登場しません。そのことが逆に、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを深く考えさせる内容となっています。

番組活用のポイント

原爆投下を『伝言』から考える

小学校高学年や中学・高校では、歴史の学習や平和学習において、広島を題材の一つとして設定したり、学習の一環として修学旅行で広島を訪れたりする学校も多いことでしょう。この番組は、そのような学習に活用できます。

昭和20年8月、一発の原子爆弾の投下によって広島の街は壊滅的な被害を受けました。爆心地から500メートル離れた場所に建つ袋町小学校。ここは、原爆投下直後から避難所として使われました。この学校の校舎の壁には、家族の安否を知るために訪れた人々が書き残した伝言がたくさん書きつづられました。

当時の状況を知る手がかりとなる伝言から伝わる、行方不明になった親族を探す人々の悲痛な叫びと、それに向き合う6組の家族。それぞれの話が、原爆投下で翻弄された人々の苦悩、怒り、悲しみを物語ります。原爆や戦争について、新たな視点で考えさせるきっかけを与えてくれるでしょう。

平和教育や修学旅行の事前学習として

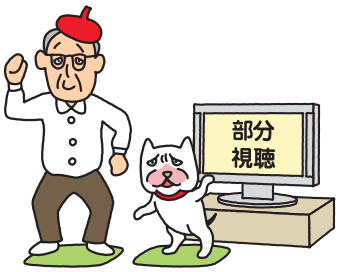
平和教育を進めるうえでは、修学旅行などの事前学習で、こうした映像の視聴から学習課題を設定することは非常に効果的です。また、戦争の語り部や証言者が少なくなってきた近年、調べ学習の参考資料として原爆投下の状況や当時を生きた人々の思いを知るうえで、この映像は大変貴重です。

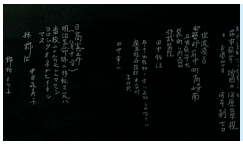
番組は49分の長時間となっているため、展開例では部分視聴を行い、学習課題を設定する内容となっています。校種によっては授業を2時間扱いにし、まるごと視聴を行うことで、さらに有効な活用ができます。

（甲斐 崇）

学習展開例　授業時間 50分

壁に残された伝言から広島の原爆について考えよう



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	①戦争や原爆について知っていることを話し合う。	○これまで学習してきたことや、身近な地域などで戦争に関係したひと・もの・ことについて話し合う。 ○一般的なことに終始せず、戦争体験談を聞いた経験などを想起させておくことで、番組の内容に結びつけたい。
25分	②番組を部分視聴する。 視聴 ・爆心地近くに建つ袋町小学校 （開始～3分10秒）  ・コンピュータグラフィックによって復元された伝言 （8分8秒～9分16秒） ・伝言に向き合い、姉のことを思う家族 （9分16秒～24分17秒）	○必要に応じてメモをとらせる。 ○視聴は全てではなく、体験ごとに18分～25分程度にとどめる。（開始から17分43秒まで、もしくは24分17秒まで） ※校種によって、または2時間連続で授業時数の確保が出来る場合はまるごと視聴を行ってもよい。 ○それぞれの伝言の内容と、その伝言に向き合う人々の思いに着目させながら視聴させたい。
5分	③ノートやワークシートに番組を見ての感想や意見、疑問に思ったことを書く。	○感想だけで終わらずに、疑問に思ったことや、感じたことをまとめさせる。
10分	④番組を見ての感想、疑問を発表し、意見交換を行う。	○発表したことを板書でまとめていき、それぞれの意見や疑問を関連づけていく。 ○出てきた疑問については、現段階で子どもたちなりに考えさせて、予想を持たせておく。
5分	⑤学習課題を設定する。 例）修学旅行などで、広島に落とされた原爆のことや、投下直後の様子について調べよう。	○修学旅行などで現地を訪れる場合は、番組で登場した地名や施設名を確認して、修学旅行での調べ学習に関する目的意識を持たせるようにする。 ○番組を通して、なぜ原爆が落とされるに至ったのか、また太平洋戦争についてなど、学級での学習課題を設定したり、調べる計画を立てたりする。

コラム　平和教育の番組などと関連させて

さらに学習を深めたいときは、ティーチャーズ・ライブラリー「平和教育」の関連番組をお勧めします。『夏服の少女たち～ヒロシマ・昭和20年8月6日～』、『サダコ～ヒロシマの少女と20世紀～』など、広島や長崎の原爆関連だけでも12本の番組があります。校種や学年、取り扱いたい内容によって選んで活用することができます。

また、NHK戦争証言アーカイブス（http://www.nhk.or.jp/shogenarchives/）では、戦争を体験した人々の貴重な証言が体系的・総合的に整理し公開されています。合わせて活用することで平和学習を効果的に進めることができるでしょう。